

英語になった日本語

これまで、外来語や

和製英語についてお話をしてきましたが、今回は「英語になった日本語」です。

オックスフォード英語辞典 (Oxford English Dictionary) という英語最大の辞典があります。(収録語数約 29 万語、小見出しその他も含めると 61 万 5 千語。本体 20 巻。)

それによると、古くは日本の戦国時代である 16 世紀後半には kuge(公家) bonze(坊主)などの日本語が英語として使われるようになったことが、わかります。江戸時代には katana(刀)・shogun(将軍)・mikado(帝)・zen(禅)・hara-kiri(腹切り)などがあり、またその後もたくさん「英語になった日本語」が出てきます。ざっと 400 くらいはあるそうです。

さて 次の日本語は英語として使われている(オックスフォード英語辞典に掲載されている) でしょうか？

1	布団	使われている・使われていない
2	枕	使われている・使われていない
3	津波	使われている・使われていない
4	焼き鳥	使われている・使われていない
5	新幹線	使われている・使われていない
6	カラオケ	使われている・使われていない
7	銀行	使われている・使われていない
8	ポケモン	使われている・使われていない
9	過労死	使われている・使われていない
10	通勤地獄	使われている・使われていない

ちなみに、最近の英語ニュースなどでよく見られる「英語になった日本語」は honcho tycoon などがあります。

元々の日本語はなんだったか、わかりますか？

答えは 班長 大君

使われだしたのが、かなり昔のため、元々の意味とはかなりずれて使われている例です。それぞれいまではどんな意味になっているのでしょうか？

honcho	
tycoon	

事例 2 の解答です。

和製英語	どうやってできたか？	英語
オートバイ	オート+バイシクル	motorbike
ガソリンスタンド	ガソリン+スタンド	gas station
カンニング	Cunning=ずるい	cheating
キーホルダー	キー+ホルダー	key ring
シュークリーム	靴クリーム？ フランス語	cream puff
クラクション	警笛製造会社の名前から	horn
パンク	パンク（チュア）	puncture (flat tire)
コンセント	コンセントレイト	outlet
フライパン	フライ+パン	frying pan
マンション	大豪邸？	condominium
サイン	署名	autograph
トランプ	切り札	card
サラリーマン	サラリー+マン	office worker
(電子)レンジ	レンジ=ガスコンロ	microwave oven
ジェットコースター	ジェット+コースター	roller coaster
ポテトフライ	ポテト+フライ	fried potato
クーラー	アイスボックスのこと	air conditioner